



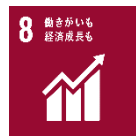







SDGs おおたゴールドスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDGsの内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDGsの推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日> 2026 年 5 月 12 日

事業者情報					
事業者名		株式会社 はとバス			
代表者 職・氏名	職名	代表取締役社長			
	氏名	武市 玲子			
ホームページ URL (任意)		https://www.hatobus.tokyo/			
事業者ロゴ (任意)					
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
<ul style="list-style-type: none"> すべての事業活動において、安全が最優先されている お客さまに満足と感動をいただけるサービスや商品を提供している 地球環境への配慮、社会貢献を積極的に進めている 社員一人ひとりの「働きがい」と「働きやすさ」を大切にしている 					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDGs 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を實現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
		○●	○●	○●	
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
	○●	○●	○●	○●	○●
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	
○●			○●	○●	

目標の達成に向けた重点的な取組内容等			
分野 (該当分野に チェック) (複数選択可)	SDGsゴール (メイン・サブ) の数字を記入 (複数記入可)		目標の達成に向けた重点的な取組
①	経済	✓	【メイン】 5 【サブ】 3.8.10.16 <働きやすい環境づくり> ・外国籍の社員を受け入れ、あらゆる人材が活躍できる環境を整える ・育児支援制度を充実させ、産育休はもちろんのこと、復職後も出勤・退勤の時間を自身で設定することを可能とする、子看休を取りやすくするなど個々の家庭状況に合わせて働きやすい職場環境をつくる
	社会	✓	
	環境	□	
②	経済	□	<環境保全> ・エコツーリズム要素を含めたサステナブルツアーの企画・実施 ・自治体が主催する清掃活動等への参画 ・ホテル事業におけるプラスチックごみ削減 ・連泊の客室のエコ清掃の取組み ・所有不動産の再生可能エネルギーへの順次切替
	社会	□	
	環境	✓	
③	経済	□	<地域貢献・ステークホルダーとの連携> ・学生の職場見学・職場体験・実習の受け入れ ・大田区フードドライブ活動への参画
	社会	✓	
	環境	✓	

進捗報告			
	進捗状況（1年目）	進捗状況（2年目）	進捗状況（3年目）
①	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに外国籍社員5名を受け入れ、日本語・日本文化研修を実施している。 ・昨年4月から、育児中の社員の時短勤務の期間を、養育対象の子どもが小学3年生修了まで取得できるよう、法定を上回る内容で、整備し運用を開始した。 ・DX化を進め、アプリからの労務関係書類の届出を 		

	<p>可能とした他、7割を占める乗務員等、現場に出ている社員との情報格差解消のため、情報共有アプリを導入した。</p>		
②	<ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズム要素を含めたサステナブルツアーを2コース企画・実施。第21回エコツーリズム大賞「環境大臣賞パートナーシップ賞」を受賞した。 ・事業所周辺の自治体、関連団体等の主催する清掃活動に参画。 ・ホテル事業におけるプラスチックゴミ削減・エコ清掃による水資源の節減に加え、Fry to Fly Project に参画し、レストランの廃食油の SAF 燃料への資源循環を図った。 ・3棟の物件で Co2 フリー電力へ切り替えた。 ・全社の Co2 排出量の測定を開始した。 		
③	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区の中学校4校をはじめとした26件754名(オンライン含む)の職場体験を受け入れた。 ・大田区社会福祉協議会へ、フードドライブで回収した食品・日用品を提供。併せて、使用済み切手を回収、提供した。 ・デフリンピックに協賛し、社員を企業サポーターとして競技会場へ派遣した。 		